

提言に対する改善報告書

大学名称 千葉県立保健医療大学（評価申請年度 2015 年度）

1. 努力課題について

No.	種 別	内 容
1	基準項目	1. 理念・目的
	指摘事項	公表媒体により理念・目的の名称が一部異なっており、大学ホームページでは理念・目的について類似の名称・内容が並んでいるなど、理念・目的が統一されていない。整理したうえでわかりやすい公表を行うためにも、理念・目的を検証する体制・仕組みを構築し、定期的な検証と連動して改善することが望まれる。
	評価当時の状況	大学ホームページでは「教育研究上の理念及び目的」とは別に大学の教育理念、教育目標など類似しているが、異なる内容の項目が追加されて分かりづらくなっていた。更に『学生ハンドブック』では「教育研究上の理念及び目的」が「大学の基本理念」となっており、『教育研究年報』では「教育研究上の理念及び目的」が上述の理念及び目的とは異なる内容になっていた。理念・目的を検証する体制が構築されていなかったため、定期的な検証が行われず、分かりづらい状況が継続していた。
	評価後の改善状況	2016（平成 28）年度に、自己点検・評価実施推進部会において、定期的に「理念・目的」を検証することを決定し（資料 1-1-1、1-1-2、1-1-3）、その後、2017（平成 29）年度にかけて、同部会において、点検・評価を行い、修正が必要な事項の選定が行われ（資料 1-1-4、1-1-5、1-1-6、1-1-7）、公表媒体間の統一に向けた作業を開始した。 2018（平成 30）年度に入り、大学ホームページや『学生ハンドブック』等の各媒体において、「教育研究上の理念及び目的」という記載項目を削除し、「大学の理念・目的」に統一し

	た（資料 1-1-8、1-1-9、1-1-10、1-1-11）。				
改善状況を示す具体的な根拠・データ等					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1-1-1 「平成 28 年度第 1 回自己点検・評価実施推進部会議事要旨（2016 年 5 月 24 日開催）」 ・ 1-1-2 「平成 28 年度第 1 回自己点検・評価実施推進部会資料 2 「平成 28 年度重点施策・改善計画」（案）」 ・ 1-1-3 「平成 28 年度重点施策・改善計画一覧」 ・ 1-1-4 「平成 28 年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準 I ①」 ・ 1-1-5 「平成 28 年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準 I ②」 ・ 1-1-6 「平成 29 年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準 I ①」 ・ 1-1-7 「平成 29 年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準 I ②」 ・ 1-1-8 「千葉県立保健医療大学ホームページ／大学の理念・目的」 URL:https://www.pref.chiba.lg.jp/hoidai/kyouiku/annai/mokuhyou.html ・ 1-1-9 「千葉県立保健医療大学ホームページ／平成 31 年度学生ハンドブック I 大学の概要」 URL:https://www.pref.chiba.lg.jp/hoidai/kyouiku/jyohokokai/documents/2gaiyou.pdf ・ 1-1-10 「千葉県立保健医療大学ホームページ／大学案内パンフレット」 URL:https://www.pref.chiba.lg.jp/hoidai/kyouiku/nyuushi/documents/2019_p01-02web.pdf ・ 1-1-11 「千葉県立保健医療大学ホームページ／平成 29 年度版千葉県立保健医療大学教育研究年報【通巻第 9 号】」 URL:https://www.pref.chiba.lg.jp/hoidai/kyouiku/jyohokokai/documents/h29kyouikunennpou.pdf 					
< 大学基準協会使用欄 >					
検討所見					
改善状況に対する評定	1	2	3	4	5

No.	種 別	内 容
2	基準項目	3. 教員・教員組織
	指摘事項	<p>完成年度以降、2年間にわたり大学全体の教授数が大学設置基準に抵触していたことを踏まえ、人事計画に沿って教員数を適切に管理するとともに、教員組織を定期的に検証する体制や仕組みを構築し、機能させるよう改善が望まれる。</p>
	評価当時の状況	<p>教員組織の編制については、大学設置認可申請書において、研究業績が認められ専門的分野で相応の教育経験および臨床経験を重ねた者を適切に配置する編制とした、と記載したのみで、教員組織の編制方針を定めているとは言い難く、教員組織に関し、その適切性を検証する責任主体・組織は構築できていなかった。2度に渡り文部科学省による設置計画履行状況調査（アフターケア）で教員組織の適切性について指摘を受けていることに加え、2013（平成25）年度及び2014（平成26）年度において教授数が大学設置基準を満たしていなかった事実からも、早急に教員組織を検証する体制を構築し、定期的に検証を行うことが必要であった。</p>
	評価後の改善状況	<p>2016（平成28）年度に、将来構想検討委員会の下に学部長を中心とする管理運営ワーキンググループを設置し、教員組織を検証する体制の構築に向け、検討を開始した（資料1-1-3、1-3-1、1-3-2、1-3-3、1-3-4、1-3-5、1-3-6）。</p> <p>数年に渡る検討の末、2018（平成30）年度に、教員数を適切に管理するとともに、教員組織を定期的に検証する場として、2019（令和元）年度より新たに「人事委員会」を設置することを決定した（資料1-3-7、1-3-8）。</p> <p>2019（令和元）年度より、同委員会において、教員組織の定期的な検証及び将来の教員構成についての検討に着手する予定である。</p> <p>また、2018（平成30）年度から、教育研究上必要であった在宅看護学の教授ポストを新設し、教授数が大学設置基準に抵触することのな</p>

	いよう改善を図った（資料 1-3-9、1-3-10、1-3-11）。				
改善状況を示す具体的な根拠・データ等					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1-3-1 「平成 28 年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準Ⅲ①」 ・ 1-3-2 「平成 28 年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準Ⅲ②」 ・ 1-3-3 「平成 29 年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準Ⅲ①」 ・ 1-3-4 「平成 29 年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準Ⅲ②」 ・ 1-3-5 「平成 30 年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準Ⅲ①」 ・ 1-3-6 「平成 30 年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準Ⅲ②」 ・ 1-3-7 「千葉県立保健医療大学／教育情報の公表・運営組織図」 					
URL:					
https://www.pref.chiba.lg.jp/hoidai/kyouiku/jyohokokai/documents/unnei_so_shikizu.pdf					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1-3-8 「千葉県立保健医療大学人事委員会規程」 ・ 1-3-9 「千葉県立保健医療大学教員一覧（平成 29 年 5 月 1 日時点）」 ・ 1-3-10 「千葉県立保健医療大学教員一覧（平成 30 年 5 月 1 日時点）」 ・ 1-3-11 「千葉県立保健医療大学教員一覧（令和元年 5 月 1 日時点）」 					
＜大学基準協会使用欄＞					
検討所見					
改善状況に対する評定	1	2	3	4	5

No.	種 別	内 容
3	基準項目	4. 教育内容・方法・成果 (1) 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
指摘事項	健康科学部栄養学科、歯科衛生学科、リハビリテーション学科作業療法学専攻では、教育課程の編成・実施方針が現状の説明にとどまっており、教育内容・方法に関する基本的な考え方が示されていない。方針について恒常的に検証を行う仕組みを整備し、方針の内容を見直すとともに、大学ホームページの公表の仕方についても改善することが望まれる。	
評価当時の状況	健康科学部栄養学科、歯科衛生学科、リハビリテーション学科作業療法学専攻の教育課程の編成・実施方針は、現状の説明にとどまっており、教育内容・方法に関する基本的な考え方が示されていなかった。また、大学ホームページでは『学生ハンドブック』のデータを掲載するのみで、本文に直接方針が記載されていないため、公表の仕方にも問題がみられた。方針について恒常的に検証を行う仕組みを整備し、現在の方針を見直すとともに、大学ホームページの公表の仕方についても改善する必要があった。	
評価後の改善状況	1. 2015（平成27）年度に、教務委員会において、栄養学科、歯科衛生学科、リハビリテーション学科作業療法学専攻の教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー（以下「CP」という。））について、現状の説明ではなく、教育内容・方法に関する基本的な考え方を示すことができるよう修正を行い、2016（平成28）年度入学者向けの『学生ハンドブック』において公表を行った（資料1-4-1）。 2. 2016（平成28）年度に、教務委員会内にコンピテンシー検討作業部会を設置し、大学の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー（以下「DP」という。））の検証・作成、大学DPを踏まえた各学科・専攻毎のDPの作成を行い（資料1-4-2、1-4-3、1-4-4）、2017（平成29）年度にDPが完成した（資料1-4-5、1-4-6、1-4-7）。	

	<p>3. 新しいDPに基づき大学のCPと学科・専攻のCPを見直した上で必要な修正を行い、学科・専攻のCPについては、2017（平成29）年12月の教授会での審議を（資料1-4-8、1-4-9）、大学CPについては、2018（平成30年）6月の大学運営会議の審議を経て、決定した（資料1-4-10、1-4-11、1-4-12、1-4-13）。</p> <p>4. 新たなDP・CPについては、決定後、順次『シラバス』（資料1-4-14）、『学生ハンドブック』（資料1-1-9）及び大学ホームページ等で公表した（資料1-4-15）。</p> <p>5. さらに、非常勤講師を含む教員、卒業生・在校生に対し、定期的にも実施するアンケート調査結果を参考にしながら、必要に応じて教務委員会内にカリキュラム検討部会を設置し、CPの評価・検証を行うこととした。</p>
	<p>改善状況を示す具体的な根拠・データ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1-4-1 「千葉県立保健医療大学 平成28年度版学生ハンドブック（抜粋）」 ・1-4-2 「平成28年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準IV（1）4：教務委員会」 ・1-4-3 「平成28年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準IV（1）5：教務委員会」 ・1-4-4 「平成28年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準IV（3）2：教務委員会」 ・1-4-5 「平成29年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準IV3：教務委員会」 ・1-4-6 「平成29年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準IV4：教務委員会」 ・1-4-7 「平成29年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準IV6：教務委員会」 ・1-4-8 「平成29年度第10回教授会議事要旨（抜粋）（2017年12月4日開催）」 ・1-4-9 「平成29年度第10回教授会資料（学科・専攻毎のカリキュラム・ポリシー案）」 ・1-4-10 「平成30年度第3回大学運営会議議事要旨（抜粋）（2018年6月25日開催）」 ・1-4-11 「平成30年度第3回大学運営会議資料（学部カリキュラム・ポリシー案）」 ・1-4-12 「平成30年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準IV4：教務委員会」

<ul style="list-style-type: none"> ・1-4-13 「平成 30 年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準IV6：教務委員会」 ・1-4-14 「千葉県立保健医療大学ホームページ／平成 31 年度版授業科目内容（シラバス）教育理念・教育目標（抜粋）」 URL:https://www.pref.chiba.lg.jp/hoidai/kyouiku/jyohokokai/documents/1_h31_kenkoukagakubu_no_gaiyou.pdf ・1-4-15 「千葉県立保健医療大学ホームページ／3 つの方針(学位授与、教育課程の編成・実施、入学者受入)」 URL:https://www.pref.chiba.lg.jp/hoidai/gakusei/policy.html 					
＜大学基準協会使用欄＞					
検討所見					
改善状況に対する評定	1	2	3	4	5

No.	種 別	内 容
4	基準項目	5. 学生の受け入れ
	指摘事項	健康科学部看護学科において、編入学定員に対する編入学生数比率が0.60と低いので、改善が望まれる。
	評価当時の状況	編入生の出願者数は、2011（平成23）年度から2014（平成26）年度は、19名、23名、18名、28名と推移し、受験競争率は2.3倍～4.7倍あった。しかし、選抜試験を行った結果、合格者は7名、7名、8名、6名と定員10名を満たしていない状況であった。
	評価後の改善状況	<p>2016（平成28）年度に入試実施部会において入試課題検討ワーキングを立ち上げ、看護学科とともに編入学制度について課題を分析した。具体的には、編入学試験の入試問題の適切性を分析し、既修の看護専門能力と大学教育を受けるに足る学力を有する者を選別できる内容となっていることを確認するとともに、一般学生と編入学生との学力の比較を行った。その結果、アドミッション・ポリシーに見合った選抜ができていたことを確認した（資料1-5-1、1-5-2、1-5-3）。</p> <p>2015（平成27）年度以降の編入学の志願者数は、28名、18名、16名、15名、12名と減少傾向であり、合格者も2名、5名、5名、2名、1名と定員数を満たしていない状況が続いていることから（資料1-5-4、1-5-5、1-5-6、1-5-7、1-5-8、1-5-9）、今後も、本学が求める編入学生の確保に向けて、オープンキャンパスやホームページでの情報発信の仕方を工夫するなど、積極的な広報活動を行い、編入学生比率の上昇に努めていく。</p>
改善状況を示す具体的な根拠・データ等		
<ul style="list-style-type: none"> ・1-5-1 「入試課題検討ワーキング資料（GPAの比較（一般学生と編入学生）」 ・1-5-2 「入試課題検討ワーキング資料（編入学生の国家試験の不合格者および就職先）」 ・1-5-3 「平成28年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準V①」 ・1-5-4 「大学基礎データ（表4）」 		

<ul style="list-style-type: none"> • 1-5-5 「千葉県立保健医療大学ホームページ／平成 27 年度の入試結果について」 URL:https://www.pref.chiba.lg.jp/hoidai/kyouiku/nyuushi/documents/nyushi_h27.pdf • 1-5-6 「千葉県立保健医療大学ホームページ／平成 28 年度の入試結果について」 URL:https://www.pref.chiba.lg.jp/hoidai/kyouiku/nyuushi/documents/nyushi_h28.pdf • 1-5-7 「千葉県立保健医療大学ホームページ／平成 29 年度の入試結果について」 URL:https://www.pref.chiba.lg.jp/hoidai/kyouiku/nyuushi/documents/nyushi_h29.pdf • 1-5-8 「千葉県立保健医療大学ホームページ／平成 30 年度の入試結果について」 URL:https://www.pref.chiba.lg.jp/hoidai/kyouiku/nyuushi/documents/nyushi_h30.pdf • 1-5-9 「千葉県立保健医療大学ホームページ／平成 31 年度の入試結果について」 URL:https://www.pref.chiba.lg.jp/hoidai/kyouiku/nyuushi/documents/nyushi_h31.pdf 					
< 大学基準協会使用欄 >					
検討所見					
改善状況に対する評定	1	2	3	4	5

No.	種 別	内 容
5	基準項目	7. 教育研究等環境
	指摘事項	<p>仁戸名キャンパス体育館の耐震改修等、多くの問題を抱えているが、施設・設備、機器・備品を整備・管理する体制や、衛生・安全を確保する体制が整っていないので、教育研究等環境の方針を定め、実施体制と検証体制を整備するよう改善が望まれる。</p>
	評価当時の状況	<p>幕張と仁戸名の2キャンパスとも、校地及び校舎面積は大学設置基準上必要な面積が確保されていた。しかし、施設・設備の整備状況については、老朽化や開学後の整備の遅延などから、体育館、食堂、購買施設、サークル棟をはじめ、旧式の椅子・机、トイレ、卒業論文ゼミ用の演習室等に関して学生から不満の声が多かった。障害のある学生に対する環境整備についてもスロープ、自動ドア等が設置されているが、バリアフリー化は十分ではなかった。</p> <p>さらには、仁戸名キャンパス体育館の耐震改修等の必要性も見出されており、施設・設備に関しては多くの問題を抱えているが、学生の学修、教員の教育研究の環境整備に関わる学内の方針が定まっていないことに加え、施設・設備、機器・備品の整備・管理や、衛生・安全確保についての学内の体制が整っていなかった。</p> <p>学生や教職員が安心して学修または教育研究活動に取り組めるよう、安全で快適な環境を速やかに整備することが必要であった。</p>
	評価後の改善状況	<p>1. 2015（平成27）年度から2016（平成28）年度にかけて、教員及び学生に対してアンケート調査（資料1-7-1、1-7-2、1-7-3、1-7-4）を実施し、施設・設備における課題の明確化を図った。</p> <p>2. 上記1.の結果に基づき、総務・企画委員会において、2017（平成29年）3月に『千葉県立保健医療大学施設整備計画』（資料1-7-5、以下「整備計画」という。）を作成し、①安全で快適な環境を確保するための整備（トイレ改修など）、②講義室等の基本的な教育環境を確保するための整備（学生用机・椅子の更新など）などの5つの整備方針を掲げた。</p> <p>また、学内における施設整備の要望を収集し、方</p>

	<p>針を踏まえて単年度計画を立案し、それに基づき予算要求を行うとともに、実際の予算に基づき計画を修正し、優先順位に応じた整備を行う体制を整えた（資料 1-7-6～1-7-26）。</p> <p>さらに、学生への卒業時アンケートにおける満足度調査や教員対象のアンケートにより、年度毎に整備状況の評価を行うことで、検証体制も整備された（資料 1-7-27、1-7-28）。</p> <p>以上のとおり、2017（平成 29）年度より、整備計画に沿って予算要求を行うとともに、整備状況の検証を行う体制を構築した。</p>
	<p>改善状況を示す具体的な根拠・データ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1-7-1 「平成 27 年度卒業生 卒業時アンケート結果（2016 年 3 月）」 ・1-7-2 「平成 28 年度卒業生 卒業時アンケート結果（2017 年 3 月）」 ・1-7-3 「学内教員への調査 2 キャンパスに起因する問題点（2015 年 12 月）」 ・1-7-4 「平成 28 年度 教育研究等環境に関する調査：優先して整備すべき施設・設備について」 ・1-7-5 「千葉県立保健医療大学施設整備計画」 ・1-7-6 「平成 28 年度第 11 回総務・企画委員会議事要旨（抜粋）（2017 年 2 月 20 日開催）」 ・1-7-7 「平成 28 年度第 11 回総務・企画委員会資料 保健医療大学当初予算要求に係るスケジュール案について」 ・1-7-8 「平成 28 年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準Ⅶ①：総務・企画委員会」 ・1-7-9 「平成 29 年度第 2 回総務・企画委員会議事要旨（抜粋）（平成 29 年度予算執行）（2017 年 4 月 25 日開催）」 ・1-7-10 「平成 29 年度第 3 回総務・企画委員会議事要旨（抜粋）（平成 29 年度予算執行）（2017 年 5 月 8 日開催）」 ・1-7-11 「平成 29 年度全学整備費での備品購入希望リスト（平成 29 年度予算執行）」 ・1-7-12 「平成 29 年度第 4 回総務・企画委員会議事要旨（抜粋）（平成 30 年度予算要求）（2017 年 6 月 19 日開催）」 ・1-7-13 「平成 29 年度第 4 回総務・企画委員会資料 平成 30 年度予算全学整備費での備品購入希望」 ・1-7-14 「平成 29 年度第 4 回総務・企画委員会資料 平成 30 年度予算要求における修繕希望」 ・1-7-15 「平成 29 年度重点施策・改善計画実施状況報告書 大学基準Ⅶ①：総務・企画委員会」

<ul style="list-style-type: none"> ・1-7-16 「平成 30 年度第 1 回総務・企画委員会議事要旨（抜粋）（平成 30 年度予算執行）（2018 年 4 月 16 日開催）」 ・1-7-17 「平成 30 年度第 1 回総務・企画委員会資料 平成 30 年度全学整備費での備品購入希望（優先順位）（平成 30 年度予算執行）」 ・1-7-18 「平成 30 年度第 2 回総務・企画委員会議事要旨（平成 31 年度予算要求）（2018 年 6 月 4 日開催）」 ・1-7-19 「平成 31 年度教育用備品の優先順位（平成 31 年度予算要求）」 ・1-7-20 「平成 31 年度全学整備のための備品の購入希望（平成 31 年度予算要求）」 ・1-7-21 「平成 31 年度予算修繕希望（平成 31 年度予算要求）」 ・1-7-22 「令和元年度第 3 回総務・企画委員会議事要旨（令和 2 年度予算要求）（2019 年 6 月 17 日開催）」 ・1-7-23 「令和元年度第 3 回総務・企画委員会資料 令和元年度全学整備備品執行状況（令和元年度予算執行）」 ・1-7-24 「令和 2 年度教育用備品の優先順位（令和 2 年度予算要求）」 ・1-7-25 「令和 2 年度全学整備のための備品の購入希望（令和 2 年度予算要求）」 ・1-7-26 「令和 2 年度予算修繕希望（令和 2 年度予算要求）」 ・1-7-27 「平成 29 年度卒業生 卒業時アンケート結果（2018 年 3 月）」 ・1-7-28 「平成 30 年度卒業生 卒業時アンケート結果（2019 年 3 月）」 					
＜大学基準協会使用欄＞					
検討所見					
改善状況に対する評定	1	2	3	4	5

No.	種 別	内 容
6	基準項目	9. 管理運営・財務（1）管理運営
	指摘事項	事務職員のSD研修は不十分であるので、専門知識を効率的に習得し得る研修等の取り組みを充実させるよう、改善が望まれる。
	評価当時の状況	事務職員のSD研修については、千葉県主催の全庁的な研修会に事務職員が参加する他は、一般社団法人公立大学協会が開催する研修会に参加するだけであり、事務職員の資質向上に向けた学内での研修が行われていなかった。
	評価後の改善状況	<p>FD委員会（2019（令和元）年度より、「FD・SD委員会」に名称変更（資料1-3-10）において、教員に対するFDのみならず、事務職員に対するSD研修も実施していくことを決定し、2016（平成28）年度から実施している（資料1-9-1）。</p> <p>2016（平成28）年度には、事務局職員のみを対象とした、学長による本学の抱える課題についてのSD研修会を開催した（資料1-9-2）。</p> <p>また、2017（平成29）及び2018（平成30）年度には、事務局職員と教員に共通するテーマ設定を行い、外部講師を招聘し、研修会を合計4回行った（資料1-9-3、1-9-4、1-9-5、1-9-6）。</p> <p>2019（令和元）年度においては、4月に学長による事務局職員のみを対象とするSD研修会及び6月に入試改革の動向をテーマにFD・SD研修会を開催したほか、事務局職員と教員共通テーマでの研修会を実施する予定である（資料1-9-7、1-9-8）。</p>
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・1-9-1 「千葉県立保健医療大学SD（FD・SDを含む）実施状況について」 ・1-9-2 「平成28年度事務職員対象のSDの実施結果について（2016年6月29日開催）」 ・1-9-3 「平成29年度FD&SD 千葉県職場出前講座 結果報告（2017年12月5日開催）」 ・1-9-4 「平成29年度キャンパス・ハラスメント防止対策委員会 SD「ハラスメントのないキャンパスづくりのために」 結果報告（2018年3月22日開催）」 ・1-9-5 「平成30年度第1回千葉県立保健医療大学FD&SD 「テーマ：大学教職員のための著作権の基礎知識」実施状況報告（2018年6月22日開催）」 ・1-9-6 「平成30年度第2回千葉県立保健医療大学FD&SD企画 報告（2019

年 3 月 6 日開催)」					
・1-9-7 「令和元年度第 1 回 SD について（結果報告）（2019 年 4 月 25 日開催）」					
・1-9-8 「令和元年度 FD・SD について（結果報告）（2019 年 6 月 21 日開催）」					
<大学基準協会使用欄>					
検討所見					
改善状況に対する評定	1	2	3	4	5

No.	種 別	内 容
7	基準項目	10. 内部質保証
	指摘事項	学位や業績が公表されていない教員がいるなど、学校教育法施行規則によって求められている教育情報の公表が不十分なことに加え、学位授与方針等が大学ホームページの本文に記載されていないなど、情報の公表の仕方にも問題がみられるので、積極的でわかりやすい公表を行うよう改善が望まれる。
	評価当時の状況	公表が必要な情報のうち、学位授与方針や教育課程の編成・実施方針は、大学ホームページ上でそれらが記載されている『学生ハンドブック』にリンクする形をとっており、わかりやすい公表とはいえなかった。加えて、大学ホームページ上の「教育情報の公表」で学位や業績が公表されていない教員が見受けられた。アクセシビリティの大幅な改善だけでなく、わかりやすいホームページへの改変が必要だった。
	評価後の改善状況	2018（平成30）年3月に、わかりやすいホームページとするために、大学ホームページのデザインやレイアウトを変更し、リニューアルを行った（資料1-10-1）。 その中で、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）及び入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）の3つの方針については、トップページから2クリックで表示ができるように改めた（資料1-4-15）。 また、教員の学位及び業績についても、2018（平成30）年11月より順次ホームページ上での掲載情報の拡充を図っている（資料1-10-2）。
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等 ・1-10-1 「千葉県立保健医療大学ホームページ／トップページ」 URL: https://www.pref.chiba.lg.jp/hoidai/ ・1-10-2 「千葉県立保健医療大学ホームページ／教員情報」 URL: https://www.pref.chiba.lg.jp/hoidai/kyouiku/jyohokokai/kyoin_jyoho/index.html	
	< 大学基準協会使用欄 >	

検討所見					
改善状況に対する評定	1	2	3	4	5

2. 改善勧告について

No.	種 別	内 容
1	基準項目	9. 管理運営・財務（1）管理運営
	指摘事項	<p>大学として重要な事項を決定する意思決定プロセスが不明確で、大学運営会議と教授会などの関係についても明らかではない。また、県に対する予算請求や予算編成後の配分に関し、大学全体としての組織的な審議・決定プロセスがなく、主体的に予算管理を行っていないので、適切な大学運営に向け、早急に是正されたい。</p>
	評価当時の状況	<p>大学運営会議の実態が、教授会に諮る案件の事前調整の場となっており、名称通りの役割を担っているとは言い難かった。また、2015（平成27）年度からの学校教育法改正において教授会の所掌事項が規定されたが、本学の教授会の所掌事項は同法のそれとは異なるものであり、大学運営会議との関係性が不明確であった。</p> <p>また、予算要求及び予算配分については、基本的に各学科から出された要望を事務局でとりまとめて県に提出し、事務局で配分を行うだけであり、大学全体としての審議・検討は行われていなかった。</p>
	評価後の改善状況	<p>①大学運営会議と教授会の役割の明確化</p> <p>2019年（令和元）年4月より、「大学運営会議」を大学運営に関する重要事項全般、予算に関する事項、大学の組織の改廃等について審議する場と位置付けた。一方「教授会」については、学校教育法第93条第2項に規定されているとおり、学部長や教員の採用のための選考、学生の入学・卒業など教育研究に関する事項のみを所掌する会議体に変更した（資料1-3-7、2-9-1、2-9-2、2-9-3、2-9-4、2-9-5、2-9-6、2-9-7、2-9-8）。</p> <p>②委員会組織の整理</p> <p>2019年（令和元）年4月より、学長が大学全体のガバナンスに専念できるよう、学長が委員長として統率する委員会を原則として廃止し、各委員会・部会が主体的に審議・決定を行うよう改めた。さらに、委員会の部門毎に総括的な代表者として総括委員長を定め、総括委員長は各委員会の検討・審議状況を</p>

	<p>随時集約し、審議が必要な重要事項を、大学運営会議または教授会に提出する体制を整えた。(資料 1-3-7、2-9-1、2-9-2、2-9-3、2-9-4、2-9-9)。</p> <p>③予算要求プロセスの整理</p> <p>2018(平成30)年度(2019(令和元)年度予算要求時)から、各学科及び委員会において提出された予算要望を、大学運営会議において集約・検討し、学長が承認した上で、大学の予算案として県に要求するというプロセスを整えるとともに(資料 2-9-10、2-9-11、2-9-12、2-9-13)、学内研究費についても、総務・企画委員会において概算額や配分内訳等を審議し、予算案とする仕組みを整えた(資料 1-7-18、2-9-14、2-9-15、2-9-16、2-9-17、2-9-18)。</p> <p>また、予算査定後の執行計画についても、大学運営会議での審議を踏まえて、学長が決定する仕組みと改めた(資料 2-9-9、2-9-19、2-9-20)。</p>
	<p>改善状況を示す具体的な根拠・データ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2-9-1 「平成30年度第6回将来構想検討委員会議事要旨(抜粋)(2019年2月18日開催)」 ・2-9-2 「平成30年度第11回大学運営会議議事要旨(抜粋)(2019年3月11日開催)」 ・2-9-3 「平成30年度第3回評議会議事要旨(抜粋)(2019年3月19日開催)」 ・2-9-4 「千葉県立保健医療大学大学運営会議規程(2019年4月1日改正)」 ・2-9-5 「千葉県立保健医療大学管理規則(改正案)」 ・2-9-6 「千葉県立保健医療大学教授会規程(改正案)」 ・2-9-7 「令和元年度大学運営会議次第」 ・2-9-8 「令和元年度教授会次第」 ・2-9-9 「千葉県立保健医療大学学内委員会規程(2019年4月1日改正)」 ・2-9-10 「平成30年度第4回大学運営会議議事要旨(2018年8月1日開催)」 ・2-9-11 「平成30年度第4回大学運営会議資料(平成31年度予算以降の予算要求及び予算決定の流れ)」 ・2-9-12 「平成30年度第4回大学運営会議資料(平成31年度当初予算要求について)」 ・2-9-13 「平成30年度第4回大学運営会議資料(平成31年度当初予算要求の主な内容について)」 ・2-9-14 「平成30年度第3回総務・企画委員会議事要旨(抜粋)(2018年7月9日開催)」 ・2-9-15 「平成30年度第5回総務・企画委員会議事要旨(抜粋)(2019年2月18

日開催)」 ・2-9-16 「平成30年度第5回総務・企画委員会資料（H31研究費予算配分案）」 ・2-9-17 「令和元年度第4回総務・企画委員会議事要旨（2019年7月8日開催）」 ・2-9-18 「令和元年度第4回総務・企画委員会資料（令和2年度研究費予算要求案）」 ・2-9-19 「平成30年度第9回大学運営会議議事要旨（抜粋）（2019年1月28日開催）」 ・2-9-20 「平成30年度第9回大学運営会議資料（平成31年度千葉県立保健医療大学当初予算要求結果）」					
<大学基準協会使用欄>					
検討所見					
改善状況に対する評定	1	2	3	4	5

No.	種 別	内 容
2	基準項目	10. 内部質保証
	指摘事項	<p>内部質保証の中心的な役割を担う自己点検・評価委員会と2つの部会の連携・役割分担、また「大学運営会議」等の他の組織との役割分担が明確ではなく、責任主体と実態に乖離がみられるなど、内部質保証システムが十分に構築されていない。また、全学的な自己点検・評価も今回の大学評価を申請するまで実施しておらず、諸活動の定期的な検証も不十分なので、大学として責任ある内部質保証を実現するよう、是正されたい。</p>
	評価当時の状況	<p>本学の内部質保証体制は、「自己点検・評価委員会規程」に基づき、「自己点検・評価委員会」を設置するとともに、同委員会のもとに専門部会として「報告書作成等部会」と「認証評価部会」を設置していた。しかし、2012（平成24）年の文部科学省による設置計画履行状況調査において指摘された留意事項2点に関して、それらの改善策の検討を行い実施したのは「自己点検・評価委員会」ではなく、「大学運営会議」であり、内部質保証のための責任主体と実態に乖離があった。</p>
	評価後の改善状況	<p>2016（平成28）年4月開催の「自己点検・評価委員会」（以下「評価委員会」という。）において、新たに「自己点検・評価実施推進部会」を設置し、同部会において全学的な自己点検・評価を行い、評価案を作成し、評価委員会で審議・決定する仕組みとした（資料2-10-1、1-1-1、1-1-2、1-1-3）。</p> <p>2016（平成28）年度から、同方針に基づき、同部会と評価委員会とが連携しながら点検・評価を行っており（①2016（平成28）年度の自己点検・評価結果は、資料2-10-2～2-10-7、②2017（平成29）年度の自己点検・評価結果は、資料2-10-8～2-10-12、③2018（平成30）年度の自己点検・評価結果は、資料2-10-13～2-10-18）、さらに評価結果は大学運営会議に報告され、大学全体の取組みの改善に反映させるという内部質保証システムを構築した（資料2-2-19）。</p> <p>また、既存の「報告書作成等部会」は、大学の教育</p>

	<p>研究活動の記録としての教育研究年報作成を専門的に所掌する部会とし、「認証評価部会」は、大学認証評価を専門的に所掌する部会として整理を行った(資料 2-2-20)。</p> <p>以上のとおり、自己点検・評価に関する各部会の役割分担を明確にするとともに、部会で作成・検討した自己点検・評価案を、最終的に評価委員会が責任主体として審議・決定する体制を確立したところであり、内部質保証システムの構築を図ったところである。</p>
	<p>改善状況を示す具体的な根拠・データ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2-10-1 「平成 28 年第 1 回自己点検・評価委員会議事要旨(抜粋)(2016 年 4 月 14 日開催)」 ・2-10-2 「平成 28 年度第 3 回自己点検・評価委員会自己点検・実施推進部会議事要旨(2016 年 12 月 21 日開催)」 ・2-10-3 「平成 28 年度第 4 回自己点検・評価委員会議事要旨(抜粋)(2017 年 1 月 25 日開催)」 ・2-10-4 「平成 28 年度第 4 回自己点検・評価実施推進部会議事要旨(抜粋)(2017 年 2 月 7 日開催)」 ・2-10-5 「平成 29 年度第 1 回自己点検・評価委員会議事要旨(2017 年 4 月 17 日開催)」 ・2-10-6 「平成 29 年度第 1 回自己点検・評価委員会資料(平成 28 年度改善勧告の達成状況報告)」 ・2-10-7 「平成 28 年度重点施策・改善計画達成状況報告書(自己点検・評価結果最終報告書)」 ・2-10-8 「平成 29 年度第 2 回自己点検・評価委員会議事要旨(抜粋)(2017 年 9 月 14 日開催)」 ・2-10-9 「平成 29 年度第 2 回自己点検・評価委員会資料(平成 29 年度重点施策・改善計画一覧)」 ・2-10-10 「平成 29 年度第 4 回自己点検・評価実施推進部会議事要旨(2018 年 3 月 26 日開催)」 ・2-10-11 「平成 30 年度第 1 回自己点検・評価委員会議事要旨(2018 年 4 月 16 日開催)」 ・2-10-12 「平成 29 年度重点施策・改善計画達成状況報告書(自己点検・評価結果最終報告書)」 ・2-10-13 「平成 30 年度第 3 回自己点検・評価委員会議事要旨(抜粋)(2018 年 10 月 15 日開催)」 ・2-10-14 「平成 30 年度第 3 回自己点検・評価委員会資料(平成 30 年度重点施

策・改善計画一覧)」					
・2-10-15 「平成30年度第1回自己点検・評価委員会自己点検・評価実施推進部 会議事要旨（2018年10月25日開催）」					
・2-10-16 「平成30年度第2回自己点検・評価委員会自己点検・評価実施推進部 会議事要旨（2019年3月7日開催）」					
・2-10-17 「平成31年度第1回自己点検・評価委員会会議事要旨（抜粋）（2019年 4月18日開催）」					
・2-10-18 「平成30年度重点施策・改善計画達成状況報告書（自己点検・評価結 果最終報告書）」					
・2-10-19 「令和元年度第2回大学運営会議議事要旨（抜粋）（2019年5月20日 開催）」					
・2-10-20 「千葉県立保健医療大学自己点検・評価委員会規程」					
＜大学基準協会使用欄＞					
検討所見					
改善状況に対する評定	1	2	3	4	5